

第 10 章 計画達成状況の評価と検証の方法

(1) 進捗管理

計画の推進にあたっては、社会環境や市民ニーズ等の変化に合わせて、最適な施策を実施していくために P D C A サイクルを取り入れて、目標の進行管理をする。

具体的には、実施計画の立案・最適化（Plan）、計画的な施策の実施（Do）、目標に対する達成度の評価と課題・問題点の整理（Check）、改善策の検討（Act）というサイクルで行い、次年度以降につなげながら計画を推進する。

目標に対する達成度の評価については、新居浜市地域公共交通活性化協議会において毎年度行う。

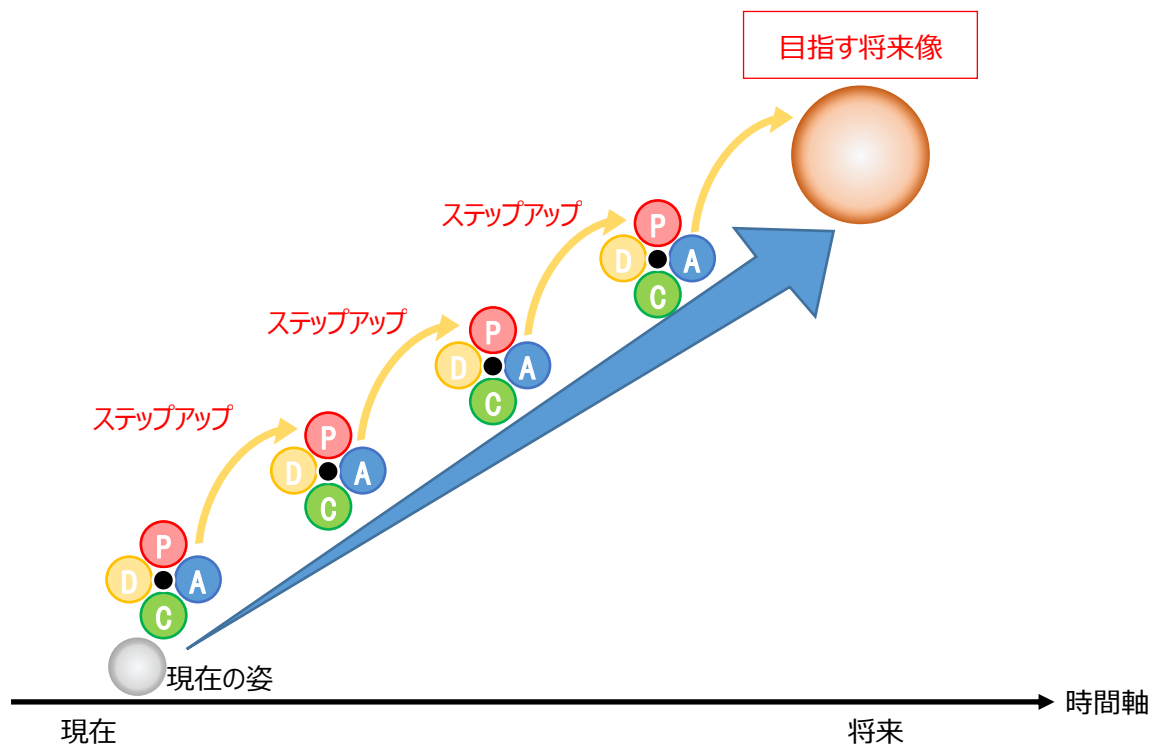


図 地域公共交通網形成計画の PDCA サイクルのイメージ

(2) 評価と検証に必要なデータなどの収集方法

計画の進捗や事業による効果、また目標の達成状況の評価・検証に必要な各種データを、関係者が協力して定期的に収集する。

表 評価・検証のために収集するデータと収集方法

収集する主体	収集データ	収集方法	収集頻度
せとうちバス	路線バス利用者数	実績データ	1年に1回
	バス路線の収入	実績データ	1年に1回
デマンドタクシー 運行事業者	デマンドタクシー利用者数	運行記録票	1年に1回
新居浜市	バスサービス圏	路線網データ	2年に1回
	人口関連データ	国勢調査データを利用	5年に1回
	市の公共交通に関する補助金額	実績データ	1年に1回
	市民の公共交通が必要不可欠な手段であるという認識率	アンケート調査	1年に1回
	新居浜駅・イオンモール新居浜・住友病院前・新居浜西バスターミナル・市役所前・東町バス停の総乗降者数	乗降調査	1年に1回

(3) 目標及び評価指標の設定

4つの基本方針の下に目標を位置づけ、具体的な事業、評価手法を以下のように設定する。

目標	事業 No	事業名	評価指標	現況値 (令和4年度)		目標値 (令和10年度)
基本方針1：コンパクトなまちづくりを先導する公共交通網の機能分担の明確化						
《目標1》 効率的な公共交通網の形成	①	効率よく都市拠点へアクセスするバス路線網の見直し	①路線バス・デマンドタクシー・鉄道の年間利用者数	路線バス	247,346 人/年	359,864 人/年
				鉄道	1,405,980 人/年	1,571,690 人/年
	②	デマンドタクシーの維持・改善	②路線バス・デマンドタクシーの運行収支差	デマンドタクシー	15,880 人/年	18,936 人/年
				路線バス(地域間幹線系統補助路線)	△239,664 千円/年	△166,581 千円/年
				デマンドタクシー(地域フィーダー系統補助区域)	△9,718 千円/年	令和4年度より改善
	③	別子山地域バスの維持・改善	③別子山地域バス・渡海船の年間利用者数	別子山地域バス	4,053 人/年	6,533 人/年
	④	渡海船の維持・改善		渡海船	83,712 人/年	88,955 人/年
⑤	地域の輸送資源の活用検討	④日頃の移動のしやすさに対する満足度(%) (アンケート調査)(最終年度)	満足(14.6%) + やや満足(22.0%) = 36.6%		50%	
⑥	公共交通を補完する移動サービスの検討					
基本方針2：3軸間のネットワーク強化						
《目標2》 だれもが使いやすい、移動しやすい公共交通の整備	⑦	快適なバス待ち環境の整備	⑤ベンチ等の設置されているバスの数	25 か所	令和4年度以上	
	⑧	利便性を高めるバス情報の提供	⑥バスロケーションシステムの導入(最終年度)	システム開発中	実装・運用	
	⑨	バス停までのアクセス性を高めるサイクル&バスライド	⑦サイクル&バスライドに使用される駐輪スペースの数(最終年度)	0 か所	1 か所以上	
	⑩	誰もが使いやすいバリアフリーに対応した車両の導入	⑧ノンステップバス車両数/バス会社(新居浜管理分)車両数 × 100 (%)	26.9%	40%	
	⑪	バス路線間やバス路線・デマンドタクシー間の乗継を考慮した運賃制度の検討	⑨デマンドタクシー交通結節点利用者数(人)	2,853 人	3,282 人	
基本方針3：利便性向上を目指した MaaS 施策・IT 技術の導入推進						
《目標3》 新居浜型 MaaS システムの構築	⑫	市公式 LINE による交通情報の充実	⑩市公式 LINE 登録者数	令和5年3月末	24,137 人	毎年見直し(40,000 人(令和5年度))
			⑪アプリを用いたデマンドタクシー予約率	令和5年4月~11月末	3.5%	10%
	⑬	キャッシュレス決済の導入と地域ポイントとの連携	⑫観光客数	令和4年1月~12月	1,523,187 人	2,635,659 人

	⑭	MaaS 車両等による新たな交通サービスの検討	⑬ 検討会を開催した回数	0 回／年度	1 回以上／年度
	⑮	自動運転等新たな交通システムの検討			
基本方針 4 : 交通関係者全員参加の協働による公共交通の維持・支援					
《目標 4》 地域の共創による公共交通の構築	⑯	公共交通の利用促進活動の展開	⑭ 新たな交通協議体による協議回数	0 回／年度	1 回以上／年度
	⑰	自治体と交通事業者のエリア一括協定による交通利便性の向上を検討	⑮ 路線バス運行に係る財政負担	93,800,000 円／年度	57,423,000 円／年度
	⑱	公共交通維持に貢献する運転手確保支援	⑯ バス・タクシー事業者のドライバー数	286 人	現況値維持
	⑲	地域主体で取り組む交通手段確保への支援			